

C-1-36 SIRS に伴う ALI/ARDS 発症における好中球エラスターゼの役割

大阪市立大学大学院医学研究科救急生体管理医学、細胞情報学*

行岡 秀和、小玉 忠知、栗田 聡、五谷 寛之、加藤 昇、羽藤 文彦*、北川 誠一*

全身性炎症反応症候群 (SIRS) に伴う急性肺傷害 (ALI) / 急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) 患者では好中球エラスターゼが著明に上昇しており、¹⁾⁻³⁾ ALI/ARDS の発症に好中球エラスターゼの関与が示唆されている。今回、SIRS のみ発症した症例ならびに SIRS に伴って ALI/ARDS を発症した症例において血漿好中球エラスターゼを測定し、比較検討した。[方法] SIRS 群は SIRS 発症後、連続 4 日間好中球エラスターゼを測定した。ALI/ARDS 群は ALI/ARDS 発症前と発症時に好中球エラスターゼを測定した。[結果] SIRS 群は男性 5 名、49±9 歳、ALI/ARDS 群は男性 6 名、女性 3 名、66.7±13.0 歳であり、ALI/ARDS 群がより高齢であった ($p < 0.05$)。SIRS 陽性項目数はそれぞれ 1.84±1.23、2.57±0.87、好中球エラスターゼは 126.9±49.5、440.0±565.6 ng/ml であり、好中球エラスターゼは ALI/ARDS 群で有意に高値であった ($p < 0.01$)。ALI/ARDS 発症前に好中球エラスターゼを測定しえた 7 例のうち 5 例は発症時よりも発症前が高値であった。健常者 6 名の好中球エラスターゼは 43.7±13.2ng/ml であり、SIRS および ALI/ARDS 群では著しい高値であった ($P < 0.001$, $P < 0.01$)。[結論] SIRS 症例では血漿好中球エラスターゼが高値となり、ALI/ARDS 症例ではさらに高値と

なった。また、血漿好中球エラスターゼは ALI/ARDS 発症前にピークを示した。これらの結果は好中球エラスターゼが ALI/ARDS の発症に深く関与していることを示している。

文献

- 1) 玉熊正悦、柴忠明、平澤博之、他。好中球エラスターゼ阻害剤；ONO-5046・Na の全身性炎症反応症候群に伴う肺障害に対する用量設定試験。臨床医薬 1998；14：263-88
- 2) 玉熊正悦、柴忠明、平澤博之、他。好中球エラスターゼ阻害剤；ONO-5046・Na の全身性炎症反応症候群に伴う肺障害に対する有効性と安全性の検討-第Ⅲ相二重盲検比較試験-。臨床医薬 1998；14：289-318
- 3) Donnelly SC, MacGregor I, Zamani A, et al. Plasma elastase levels and the development of the adult respiratory distress syndrome. Am J Respir Crit Care Med 1995；151：1428-33